正しい使い方

1

握る!

①主動レバーをいっぱいに握って下さい。握りが足りないと印字されません。

2

離す!

②主動レバーを完全に離して下さい。この瞬間にラベルが送り出されます。

3

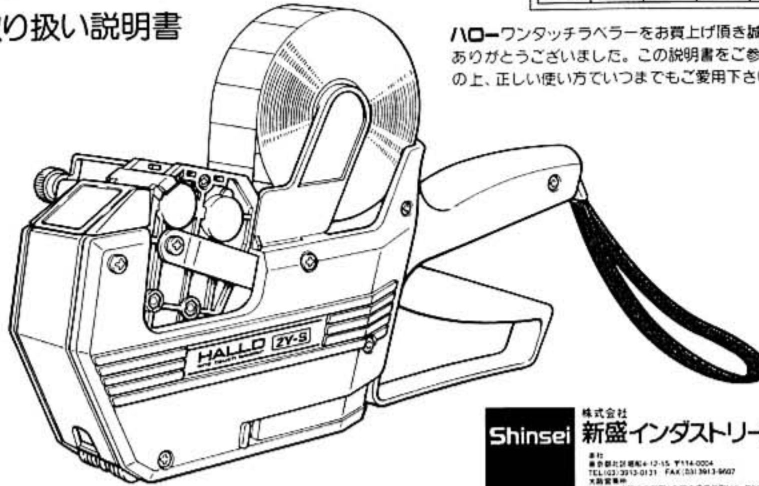
貼る!

③品物にラベルを軽く押し付けながら、ラベラーを手前に引けば、ラベルが品物に貼り付きます。

ハローワンタッチラベラー

1JS	POP·R	2Y2色	2Y	3Y

取り扱い説明書



ハローワンタッチラベラーをお買上げ頂き誠にありがとうございました。この説明書をご参照の上、正しい使い方でいつまでもご愛用下さい。

Shinsei 株式会社 新盛インダストリーズ

本社
東京都北区堀船4-12-15 〒114-0004
TEL(03)3913-0131 FAX(03)3913-9607
大阪営業所
大阪市中央区十二軒町4-2 [illegible] 〒540-0015
TEL(06)6765-4381 FAX(06)6765-4382

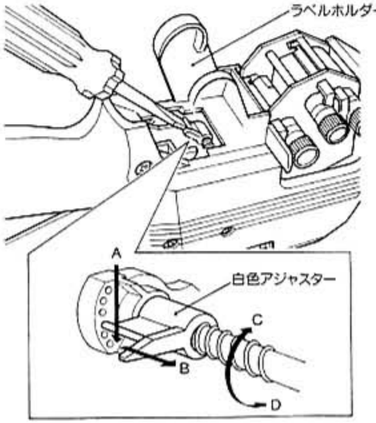
ラベルへの印字位置の微調整

ラベルへの印字位置を、多少上下させることが出来ます。

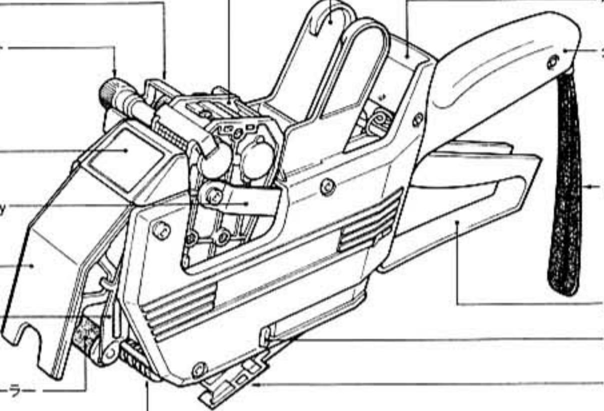
1. ラベルホルダーの左側の奥に、白色のアジャスター(調整部)があります。
2. アジャスターのAの位置に細い棒(ドライバーで可)を当てがいます。
3. ドライバーをBの方向に押して、アジャスターをフリーにします。
4. この状態で、アジャスターを、C-Dの方向に移動させることが出来ます。
5. アジャスターをどちらかへ移動させた後に、ドライバーを抜いて、調整は終わりです。

アジャスターの移動方向	C方向	D方向
ラベルへの印字位置	下へ下がる	上へ上がる

※何枚か試し打ちして、印字位置(状態)を確認して下さい。

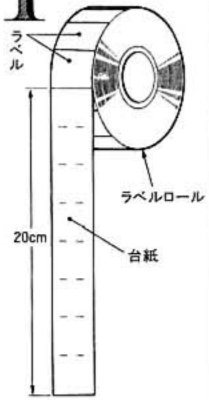


各部の名称



ラベルセットの順序

1

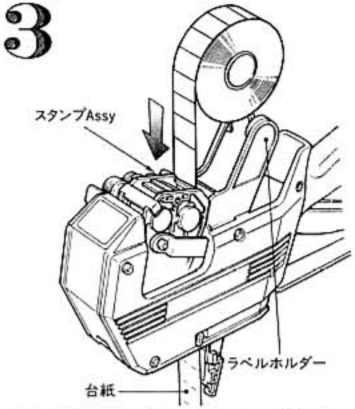


先端から約20cmのラベルをはがして、ラベルロールの先端を台紙だけにします。

2

開閉ツマミを左右同時に矢印の方向に引いて、スタンプ受けを開けます。

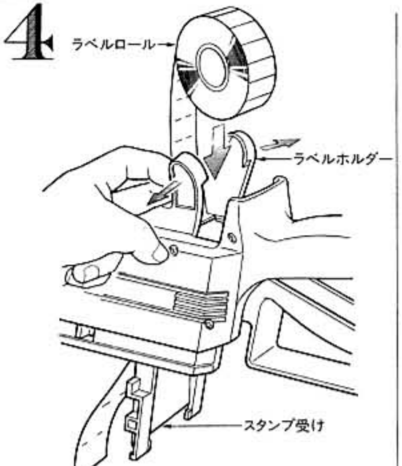
3



前記1項ではがした台紙の先端を、ラベル挿入口(ラベルホルダーとスタンプAssyの間)から差し込み、台紙の部分を本体の下側へ十分に出します。

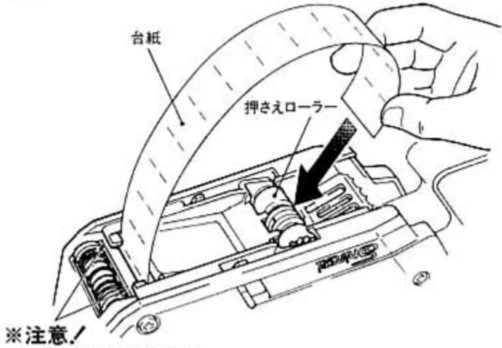
※1JS-POP(R)タイプをご使用のお客様は、主動レバーを握りながら、台紙の先端を差し込んで下さい。

4



ラベルホルダーをひろげて、ラベルロールをはめ込み、また、スタンプ受けを閉めます。

5 (3YK-Lをご使用のお客様は次の6項の操作に従って下さい)

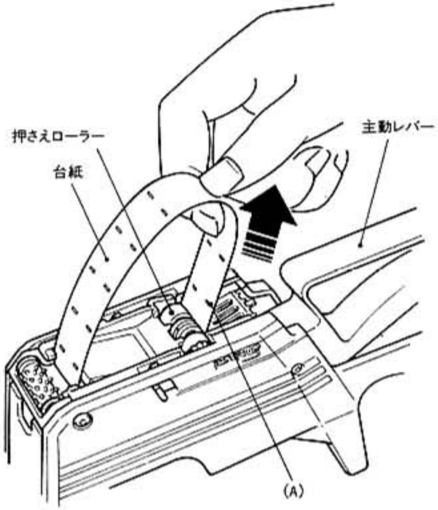


※注意!
スタンプ受け先端の突起部内側に台紙を通します。

台紙の先端を押さえローラーのスキ間に差し込みます。主動レバーを握ると、台紙が自動送りされ、たるみがなくなればセット完了です。

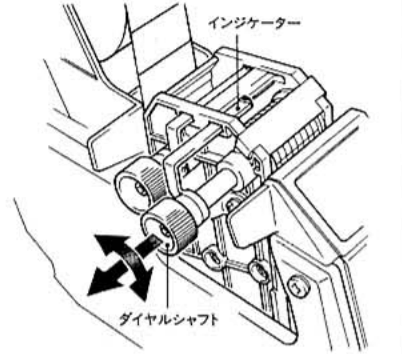
6 (3YK-Lタイプのみ)

押さえローラーのスキ間に台紙を差し込み、主動レバーを握って台紙を送り込む際、下図のように台紙を指で引っ張り、ドラムに台紙の送り孔(A)が引っかかったのを確認し、主動レバーの握りを繰り返して、台紙のたるみがなくなればセット完了です。
万一、台紙の送り孔に引っかからずに装填されますと、捺印位置がズレたラベルが発行されます。その際は、上記のように、再度台紙を指で押さえて、主動レバーの握りを繰り返し、送り孔の引っかかりを確認して下さい。



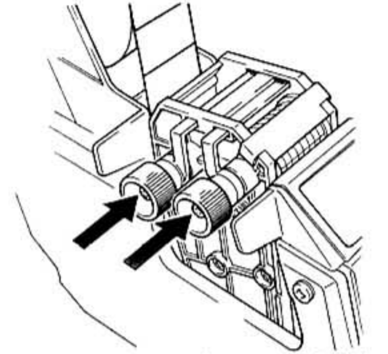
印字配列のセット

※スタンプAssyは、2Yタイプを示していますが、その他のタイプも、印字器の数が異なるだけで、操作は同じです。



ダイヤルシャフトを左右に移動し、インジケーターのセッティングマークを対象の列に合わせます。
その状態で、目的の文字・数字が現れるまで、ダイヤルシャフトを回転させます。

※回転サブスタンプの場合は、そのままダイヤルシャフトを回転させます。

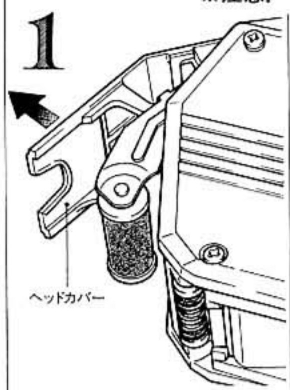


各列の文字合わせが終ったら、ダイヤルシャフトは必ず奥まで押し込んでご使用下さい。
ダイヤルシャフトがロックされ、どこかに接触しても、設定した配列が変わる心配はありません。

インクローラーの交換

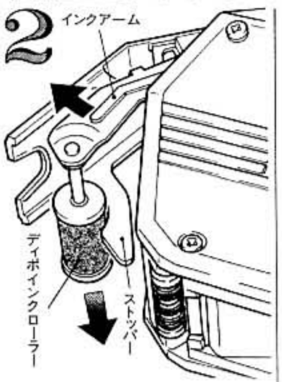
※注意！ 【ご使用上の注意】の項の⑦～⑨をご参照下さい。

1



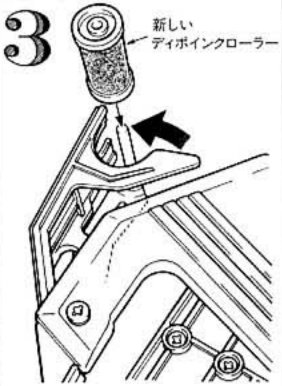
ボディ右側を下にして、ヘッドカバーを開きます。

2



インクアームを矢印の方向に動かせば、ディポインクローラーがストッパーの位置から外れて抜け落ちます。

3

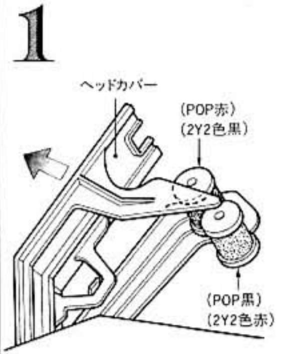


ボディ左側を下にし、前記2の要領でインクアームを押した状態で、ローラー軸に新しいディポインクローラーを落とし込み、インクアームから指を離して、ヘッドカバーを閉めれば完了です。

インクローラーの交換(〈POP、POP-R型〉・〈2Y型2色〉の場合)

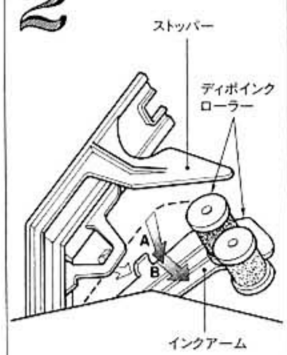
※注意！ 【ご使用上の注意】の項の⑦～⑨をご参照下さい。

1



ボディ左側を下にして、ヘッドカバーを開きます。

2



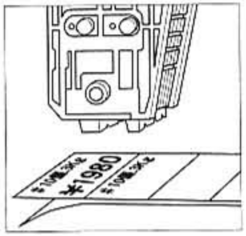
インクアームを一旦矢印Aの方向に押し下げてヘッドカバーから外し、続いて矢印Bの方向に動かして、ディポインクローラーをストッパーの位置から外せば、引き抜きが可能になります。

3

交換するディポインクローラーを取り除いて、そこに新しいディポインクローラーを取り付け、インクアームを戻しながらヘッドカバーに係止させ、最後にヘッドカバーを閉めれば完了です。

捺印残りの注意

一部の機種については、主動レバーの1回の握り動作で、スタンプが2枚のラベルにまたがって（分かれて）捺印されるものがあります。
すなわち、1枚のラベルに対する正常な捺印は、主動レバーの2回の握り動作で完成しているわけです。
従って、貼付後の、次に待機しているラベルは、1回目の捺印が残っています。
※捺印データを変更して、別のラベルを貼り付ける場合は、捺印残りのラベルを取り除いて下さい。



安全上の注意

グリップと主動レバーとの間に指を入れないで下さい。指を入れた状態で、主動レバーを握ると、指が挟まれて、ケガをすることがあります。

軟質塩化ビニール製品や木製品に、直接ラベルを貼ると、インクが裏写りする恐れがあります。万一、インクが商品に裏写りしても責任を負いかねます。

ご使用上の注意

①どんな場合でも、ディポインクローラーがセットされていることを確認してから、主動レバーの把握操作を行って下さい。
ディポインクローラーがセットされていない状態で主動レバーを握ると故障する場合があります。

②軽量にするためボディをはじめ主要部分にプラスチックを用いていますので、高温にさらすことは避けて下さい。

③ラベラーの汚れ落とし等をする場合は、ベンジンかアルコールをお使い下さい。
プラスチックを溶かすような薬品は、絶対にお使いにならないで下さい。

④精密加工品ですから、落としたり投げ出したりしないで下さい。

⑤固い品物（缶詰等)にラベルを貼る時、叩くような使い方はしないで下さい。

⑥ラベルは、当社製のもの、もしくは指定のものをご使用下さい。 それ以外のラベルを使用されての、故障その他につきましては、責任を負いかねます。

⑦ディポインクローラーは使い捨てです。
インクが薄くなった時には、新しいディポインクローラーと交換してください。

⑧ディポインクローラーにインクを注入しようとしてもシミ込まず、周りにボッテリ付くだけで、故障の原因になります。

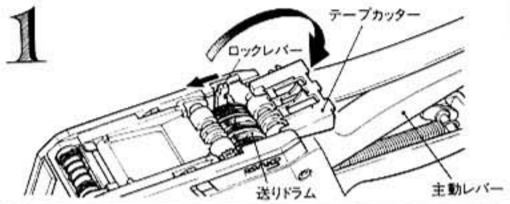
⑨ディポインクローラーの交換時には、インクが手指に付かないように気を付けて下さい。

⑩印字直後のラベル表面に触れると、インクが付くことがありますので、気をつけて下さい。

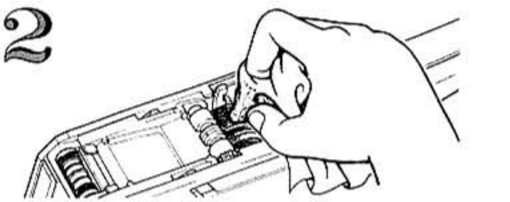
⑪軟質の塩化ビニール製品や木製品に直接ラベルをはると、インクが転写する恐れがあります。万一、インクが商品に転写しても責任を負いかねます。

送りドラムの清掃

1



2



長期間ご使用になりますと、ラベルの糊やほこりが付着し、送りズレや主動レバーの戻り不良の原因になりますので、定期的な清掃が必要です。
ロックレバーを矢印の方向に引き、テープカッターを開いて、送りドラムをアルコールかベンジンできれいに清掃して下さい。